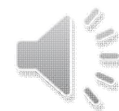


川崎市子ども発達・相談センターについて

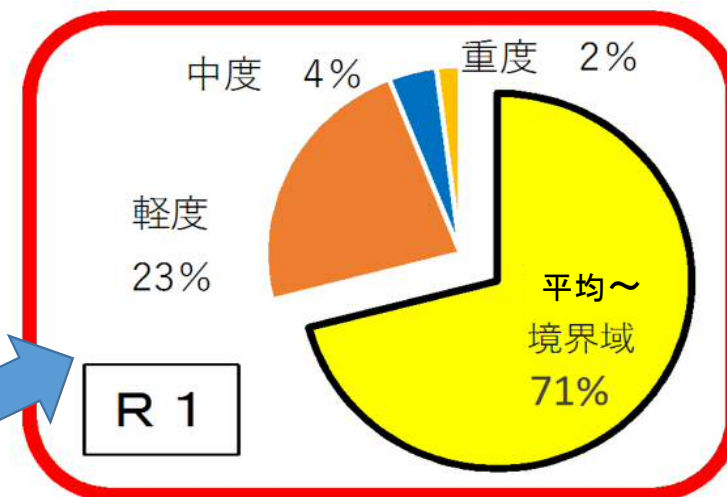
川崎市健康福祉局
障害保健福祉部 障害計画課
総合リハビリテーション推進センター 南部地域支援室



障害児（疑いを含む）支援を取り巻く現状

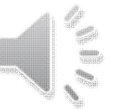
- 社会的な障害に対する認識の高まり等により、療育センター（市内4カ所）の来所者数が増加
- 特に、療育手帳に該当しない知的に平均～境界域の子どもに関する相談が多くを占める

	H25	R1	増加率
人口(18歳未満)	223,570	226,202	+1%
療育手帳B2(軽度)新規取得者数(児者)	202	272	+35%
療育センター新規来所者数	1,535	2,051	+34%



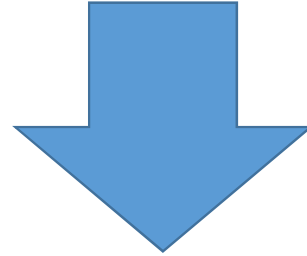
現状における課題

- 地域療育センターにおいて、新規相談等までの待機期間が長期化（3～12カ月）
- 中重度障害児への療育センターの支援が十分に行き届かない
- 保育所、学校等への療育センターのアウトリーチ支援が不足

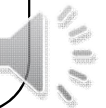


課題解決に向けた取り組み

- 知的に平均～境界域の子どもへの相談機能を強化するため、新たな相談支援・療育施設を整備

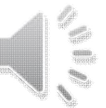
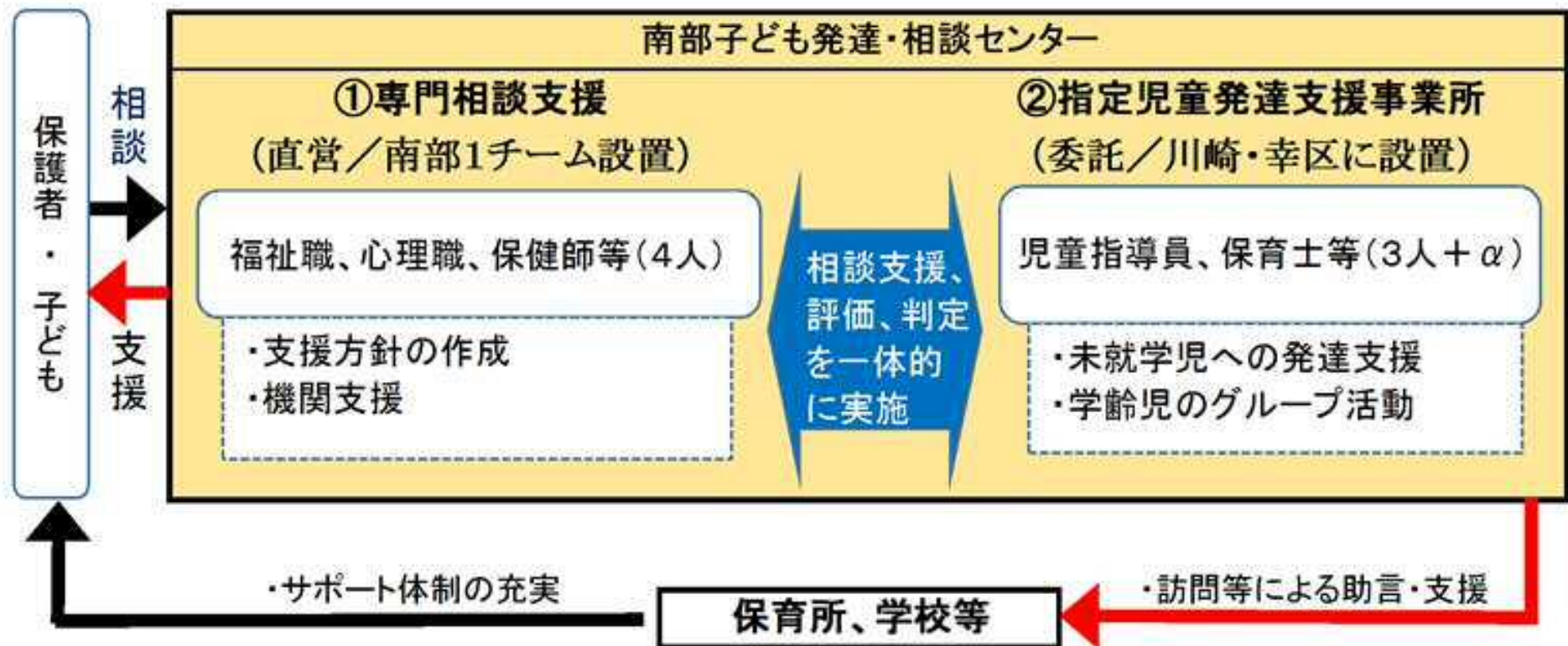


子ども発達・相談センターの設置
(対象年齢：18歳未満)



子ども発達・相談センターの体制

※R3.10月～

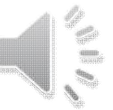
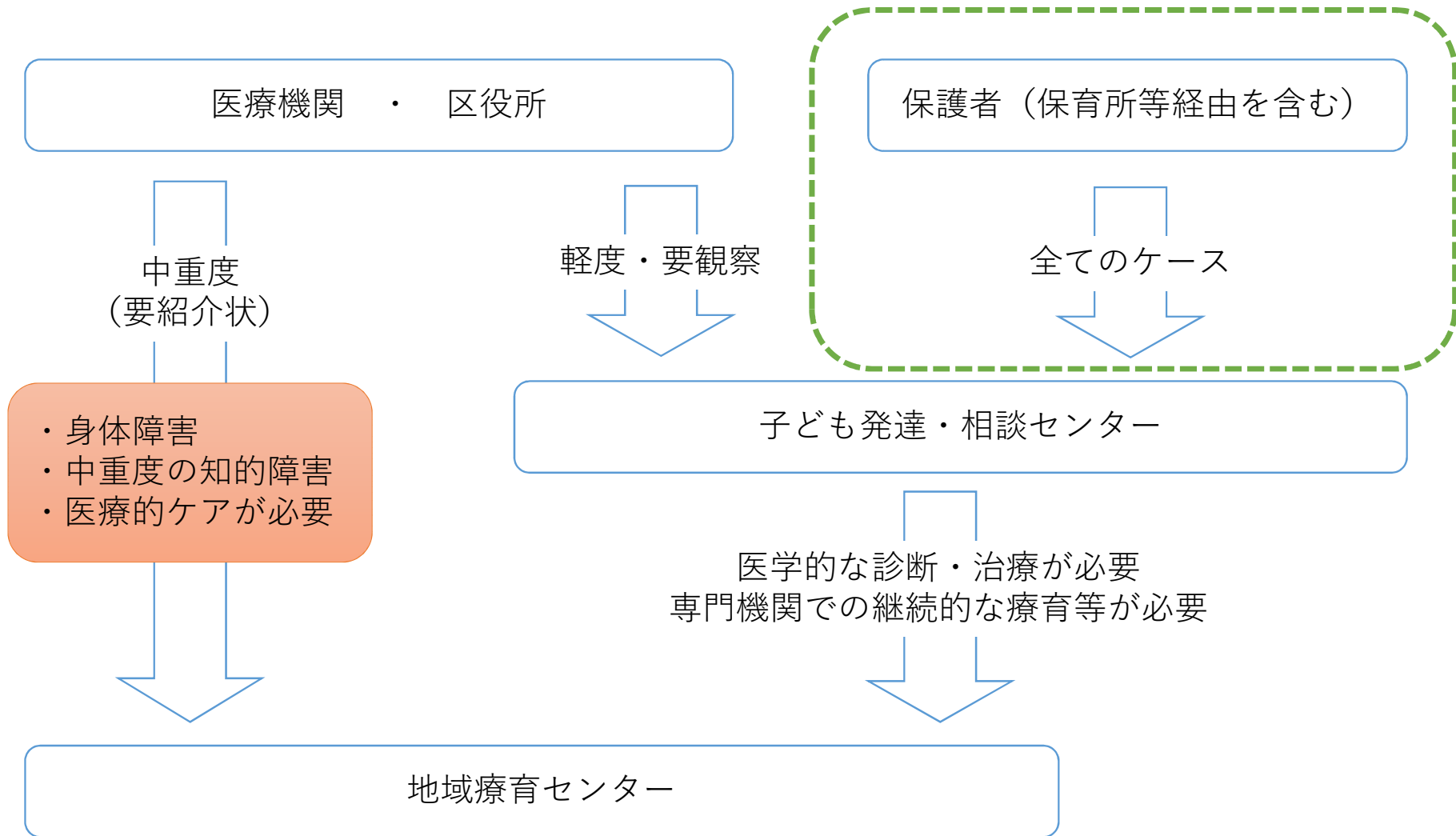




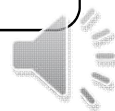
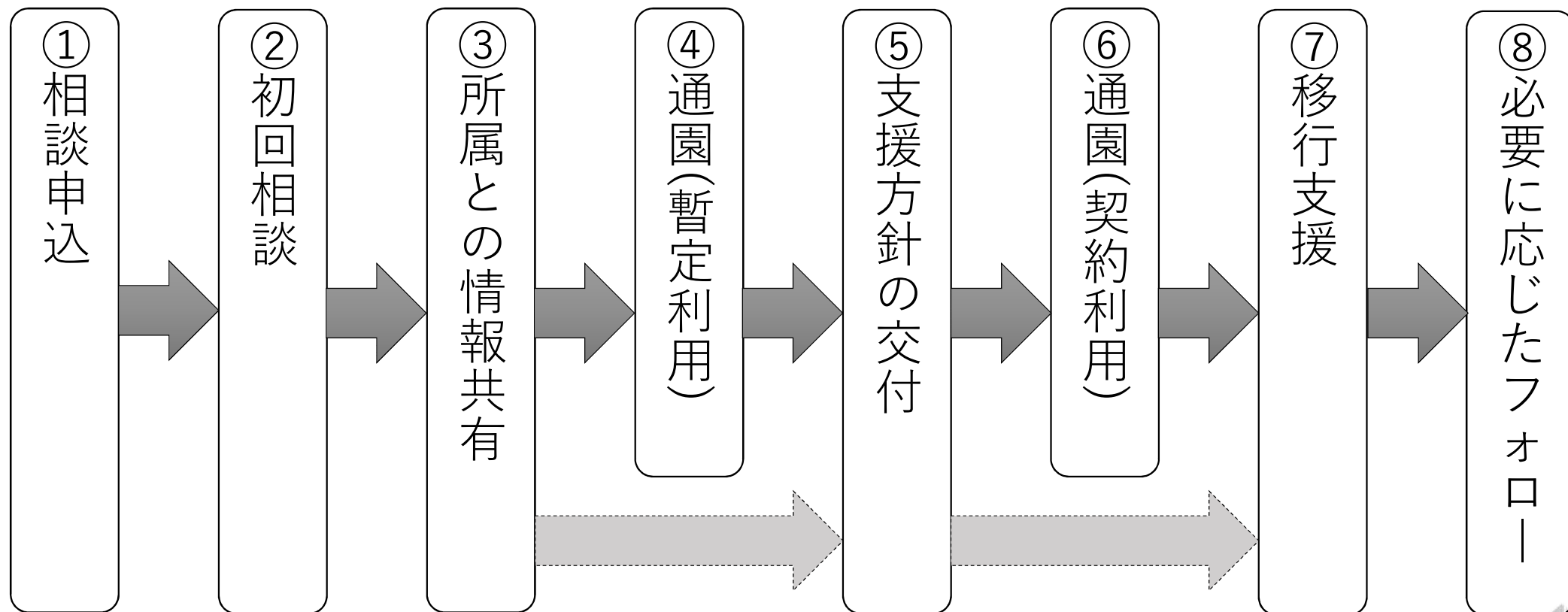
(C) OpenStreetMap contributors

新規相談の受付ルート

※R3.10月～



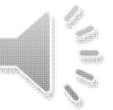
相談支援の流れ



①相談申込

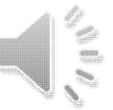
②初回相談について

- 保護者の申し込みから1～2カ月以内に初回面接を実施します。
- 問診票・適応行動検査等を利用しながら、保護者の方と一緒にお子さんの現在の状態像について整理(評価)を行います。
- 療育センター等による継続支援が必要と判断された場合は、紹介する機関に情報提供します。
 - ※この後のタイミングで継続支援の必要性が明らかになった場合は、必要な機関へ継続支援を依頼します。



③所属との情報共有について

- 保護者の了解をいただいた上で所属（保育所等）での様子を確認します。
- 複数場面でお子さんの様子を確認することにより、お子さんを多面的にアセスメントしていきます。
※確認の仕方については所属と調整いたします。
- 家庭と所属での様子を勘案した上で、支援の方向性を検討します。



④通園（暫定利用）について

- お子さんに個別の療育を行う児童発達支援事業は、受給者証を取得した上で利用する福祉サービスです。
- 併設児発を利用する場合には、受給者証を取得する前から、子ども発達・相談センターに併設される指定児童発達支援事業所の暫定利用が可能です。
※暫定利用には回数等の制限があります。
- 暫定利用をしながら、併設児発の本利用、または民間の児発の利用に向けた申請手続を保護者の方に行っていただきます。



⑤支援方針の交付について

- 初回相談で得られた情報と所属機関からいただいた情報を整理し、保護者やお子さんが希望する支援や、今後どのような支援があるとお子さんにとって良いかまとめた書類（支援方針）を保護者の方にお渡しします。
- 支援方針は、保護者を通じて所属や関係機関と共有していただくことを想定しています。
- 支援方針は、区役所での福祉サービスの利用申請に必要な書類でもあります。



こ ほんたつ せうだん せん た い し えん ほうしん あん
子ども発達・相談センター 支援方針（案）

☐ しんき 新規 ☐ こうしん 更新 ☐ へんこう 変更
しょうかいそうだん び
初回相談日

ふりがな ほんにんしめい 本人氏名	せいねんがっぴ 生年月日	H・R 年 月 日 (さい げつ かく ねん 歳 か月 (学 年)
ふりがな ほごしゃ しめい 保護者氏名		

こうふねんがっぴ 交付年月日	れいわ ねん がつ にち 令和 年 月 日	しえん ほうしん 支援方針 みなお じき 見直し時期	れいわ ねん がつころ 令和 年 月頃
-------------------	--------------------------	-------------------------------------	------------------------

※ こうしん きぼう なた たんじょうづき げつまえ しえんほうしん こうしん ややく
更新を希望される方は、誕生月の2か月前までに、支援方針の更新の予約をしてください。

ほんにん かぞく いこう きぼう せいかつ むくひょう
本人・家族の意向（希望する生活・目標）

本人・家族の意向
（希望する生活・目標）

ほんにん かぞく こま てつだ
本人・家族が困っていること、手伝いがあるとよいこと

本人・家族が希望していること、
サポートが欲しいこと

し えん ほうしん
支援方針

(子ども・保護者・所属機関に対する支援について記載する)

支援の方向性・手立て

し えん きかん
支援する機関

☐ () くやくしょ ししょ
区役所・支所 () 課

☐ じどうはつたつえん ほうかどうで い きー び す
児童発達支援・放課後等デイサービス ()

☐ () ほいくえん ようちえん (H・R ねん がつにゆうえん
保育園・幼稚園 (月入園)

☐ () しょうがっこう ちゅうがっこう こうこう
小学校・中学校・高校

☐ その他 ()

さーびす りようたいしょうめい ばん
【サービス利用対象証明欄】

福祉サービスを利用する際に
必要な、証明欄

【サービス利用対象証明欄】
ご家族が利用するサービスは、利用の目的や状況に応じて、適切なサービスを選択してください。
(月末日まで)

れいわ ねん 月 日 同意者氏名（保護者）

さくせいきかん 作成機関	さく せい しや 作成者
-----------------	-----------------

- ☐ かわさき 川崎区 電話：044-
☐ さいわい 幸区 電話：044-



⑥通園（契約利用）について

- 区役所での申請と保護者との契約に基づいて、指定児童発達支援事業所でお子さんの行動観察と発達支援を行います。
- 1回2時間程度の少人数クラスで行います。
- 3カ月を1クールとし、最大で2クールまで利用できます。
- 保護者による送迎が必要です。



⑦移行支援について

- 行った支援や支援方針が共有されていくことを目的として、子ども発達・相談センターが所属・区役所・療育センターなどへ引継ぎを行います。

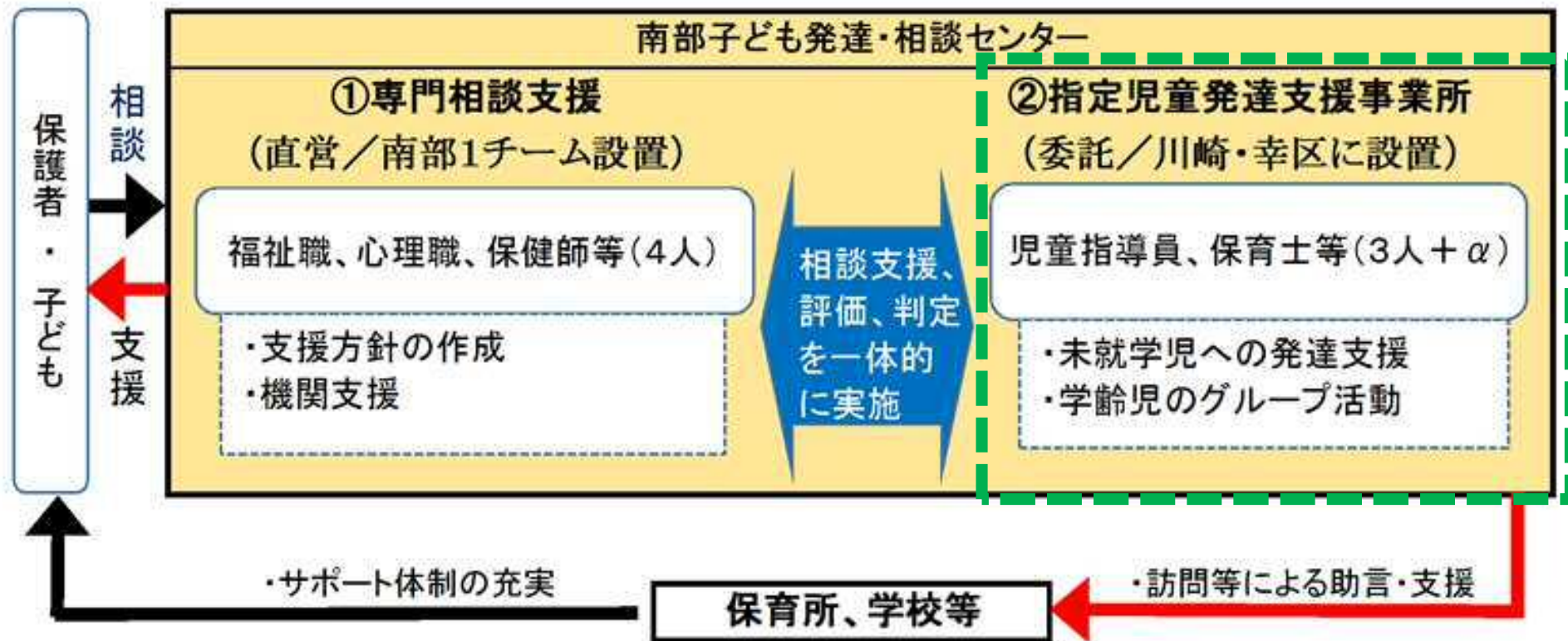
⑧必要に応じたフォローについて

- 移行支援後も、保護者や所属等からの相談をお受けします。

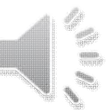


子ども発達・相談センターの体制(再掲)

※R3.10月～



※併設児発対象者：専門相談支援から紹介された方



指定児童発達支援事業所の目的について

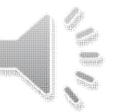
①個々の発達、特性の的確な把握と継続支援の必要性の確認

→具体的な対応方法や支援の方向性の提案を行う

②保護者支援

→保護者がお子さんへの理解を深め、適切な対応を実施できるよう、親向けプログラムや子育てサロン等の事業を実施

③継続した支援に向けた関係機関との連携



プログラムについて

①生活年齢や目的に応じていくつかのクラスを編成

②1回2時間程度の活動時間

→お子さんの特性に合わせて、静的・動的な活動をプログラムに組み込む

→療育センターから専門職による巡回を予定

③保護者支援

→活動のねらいやお子さんの様子を都度説明し、個別面談も実施



障害児通所支援事業所へのお願い

- 川崎区、幸区にお住まいの新規利用希望者が、障害者手帳等を所持しておらず、福祉サービスの利用要件を満たさない場合は、各区役所高齢・障害課、支所高齢・障害担当 または、子ども発達・相談センターをご案内ください。
※当センターにて、サービス対象証明を発行します。
- すでに療育センターへ相談している方は、引き続き療育センターでの対応となります。（心理検査・診察待機中含む）



お問合せについて

- ・ ご不明な点は、下記へお問い合わせください。

川崎市子ども発達・相談センター

きっずサポートかわさき TEL：044－589－4667

きっずサポートさいわい TEL：044－276－7127

